

2022年6月、2023年2月の2回にわけて、各地区から代表して先進地視察に行きました。

まずは、邑南町地域みらい課へ



邑南町では2005年から住民自ら主体となって地域の計画をつくる「夢づくりプラン」がスタートし、「ちくせん」事業へとつながっています。10数年途切れることなく地域づくりの事業を行うことで、地域主体の様々な取り組みが生まれ、地域で活躍する人が育っているそうです。

今、邑南町の「ちくせん」事業は第2ステージに入り、20年後の地域につながる戦略をテーマとし、多様な世代、若い人達をもっと関われるように、また地域で財源を確保し自走できるようにしたいとのことでした。

邑南町の取組みで印象的だったのは、各地区で地域づくりを担う人材（地域コーディネーター）確保に予算をつけていること。「ちくせんコンベ」により地区提案の拠点整備などハード事業を実施していることや、全体報告会など各地区が刺激しあえる場をつくられていること。また、地域と役場の間をつなぐ、中間支援組織の役割も明確で、地域伴走の在り方も大変勉強になりました。



地区の取組を熱心に聞きました！
大人気のパン屋さん（チャレンジショップ）
果樹農家とお好み焼き屋さんを経営
どちらも移住してきて、今では地域になくてはならない存在に！

〇錢宝地区（人口164人、76世帯）

自治組織が地域の基礎的活動、ちくせん委員会が地域課題解決への積極的対応を行う攻めの活動、分担しながら取り組んでおられます。空家を活用してつくった「寄り合い処」「加工施設」が活動拠点となり、高齢者サロンや介護予防活動、有償ボランティアで配食サービスを行っています。また「錢宝くらし応援隊」をつくり、草刈り、家事支援などを有償で行っていて、顔見知りが来てくれるから安心して頼めると喜ばれているそうです。今後は、事業収益を上げることや、男女年齢ごちゃまぜの多様な参加で、にぎやかな過疎をつくっていききたいそうです。



古民家を改修してつくった寄り合い処、加工所でつくったお弁当を頂きました。

地域の食材で
全て手づくり。
ボリュームー！！

〇出羽地区（人口814人、401世帯）

自治会組織の中にちくせん組織が組み込まれ、部会制でちくせんを実施しています。自治会で取り組む事業のうち、ある程度収益性が見込めるものは、核となる人達で出資設立した「合同会社 出羽」に事業を移し進めているそうです。

現在、取り組んでいる事業は、耕作放棄地の利活用、新規就農者育成、空家活用（改修して賃貸）、起業支援（チャレンジショップ）など、複合的に展開されています。

自治会組織だけでは役員交代など継続性が難しいことや、収益性追求がしにくいいため、合同会社を設立されたそうです。

新たな仲間

が加わりました！

4月から、地域おこし協力隊として「ちくせんコミュニティマネージャー」に着任しました。

前職は宮崎県庁職員として、観光、防災、土木、教育、福祉等の幅広い分野、また大学や他県の派遣先でも、多くの経験をさせていただきました。そこで得た知識や人脈等を、ちくせん事業のサポートとして活用できればと考えております。

出身地ではありますが、まだまだ知らないことが多いので、色々ご指導いただけますと嬉しいです。よろしくお願いします。



長尾拓と申します！
南郷渡川出身です！！

情報発信

はじまっています

美郷町のちくせん事業公式おまとめサイトがあるんです！各地区の動画やInstagramも見れます。チェックしてみてください！



「ちくせんニュース」は、年4回の発行を予定しています。各地区からのお知らせなど、情報をお待ちしています。

『ちくせん』かわら版

2023
春号

令和5年6月発行

美郷町企画情報課 電話：0982-66-3603

通算4号

News1

24地区が大集合！

「未来発創」ちくせん交流会」盛り上がりました！

3月19日に、西郷農村環境改善センター（体育館）にて、「未来発創 ちくせん交流会」を行いました。

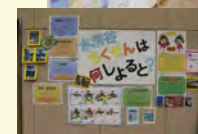
会場ですべて皆さんを出迎えたのは、各地区の写真や漢字、色彩が美しいポスター。ずらりと並ぶと壮観です！館内いっぱいを使って、令和4年度にちくせんの計画策定を行なった13地区の今後の取り組みや、すでに活動をスタートしている11地区の取り組みが紹介され、皆さん、熱心にご覧になっていました。

ステージでは、これから取り組んでいく13地区の計画と、先行実践地区の取り組みについて発表があり、今後が楽しみになる企画が満載でした。そして、今回のメインイベントとも言えるのが、1分間動画のおひろめです。それぞれの地区の個性をギュッと凝縮した24作品。美しい景色や、たくさんの笑顔、優しい方言たちが、キラキラと輝いていました。

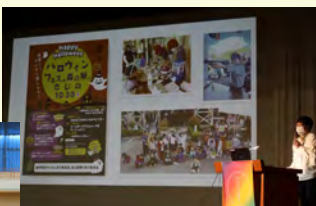


先行実践地区「鬼神野」「小川」「入下」の特別発表もありました。

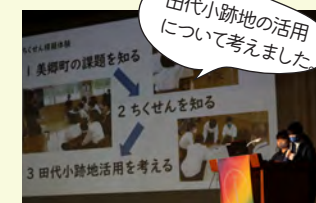
活動のヒントがいっぱい！



自分たちの活動をさらにPR！あふれる熱意に感動！！



応援したい取り組みにシールを付けていきます。「いいね！」の気持ちがあふれていました。



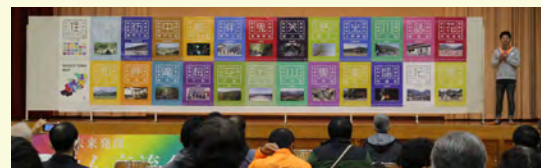
田代小跡地の活用について考えました

西郷義務教育学校の生徒さんによる「ちくせん模擬体験」授業の発表も。

News2

『動画・ポスター』お披露目

「美郷町ってこんなに美しいところだったんだ！」という感想が聞かれました。ポスターは役場や温泉などで掲示中。動画はYouTubeでぜひご覧になってみてください。



ポスター・動画制作担当 森田勝貴さんより

各実行委員の皆さん、担当者さんは、忙しい仕事の合間を縫いながらやりとりを重ね、完成させることができました。時には飲み方にも呼んでいただきました。美郷町の全地区に足を運ぶことができ、改めて美郷のおもしろさを感じています。

News3

『暮らしの手引き』完成！

24地区で「暮らしの手引き」が完成しました。美郷町への移住希望者も増えています。地区への移住に関心をもつ方が現れたら、ぜひ「暮らしの手引き」を活用してみてください。



随時、情報の更新もお忘れなく…！

暮らしの手引き担当 甲斐かおりさんより

今後は、自由に写真を新しくするなど、各地区で使いやすい形に改良するのがお勧めです。



美郷町では、令和2年度から『地区別定住戦略』事業＝『ちくせん』をスタートし、今年度からは
いよいよ、24 すべて地区での活動がスタートします！
今回は、令和2年度からの「ちくせんのあゆみ」を振り返ります。

History 「ちくせん」のあゆみ

